

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【公開番号】特開2006-106744(P2006-106744A)

【公開日】平成18年4月20日(2006.4.20)

【年通号数】公開・登録公報2006-016

【出願番号】特願2005-290511(P2005-290511)

【国際特許分類】

G 03 F 7/004 (2006.01)

G 03 F 7/00 (2006.01)

G 03 F 7/32 (2006.01)

【F I】

G 03 F 7/004 521

G 03 F 7/00 503

G 03 F 7/004 505

G 03 F 7/004 514

G 03 F 7/32

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月1日(2008.10.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(1) 親水性表面を有する研磨されそして陽極酸化されたアルミニウム支持体上に、重合体粒子および赤外線吸収剤を含んでなるコーティングを含んでなる平版印刷版前駆体を準備し、

(2) 該コーティングを熱に露呈し、それにより該コーティングの露呈された領域において該重合体粒子の合着を誘発し、

(3) ゴム溶液を該コーティングに適用することにより該前駆体を現像し、それにより該コーティングの露呈されなかった領域を該支持体から除去する

段階を含んでなるネガ・作用性平版印刷版の作製方法であって、該重合体粒子が疎水性の熱・軟化可能な芯および親水性の殻を有する芯・殻粒子であることを特徴とする方法。

【請求項2】

該粒子の芯がポリエチレン、ポリ(塩化ビニル)、ポリ((メタ)アクリル酸メチル)、ポリ((メタ)アクリル酸エチル)、ポリ(塩化ビニリデン)、ポリ(メタ)アクリロニトリル、ポリ(ビニルカルバゾール)、ポリスチレンまたはそれらの共重合体から選択される重合体の少なくとも1種を含んでなる請求項1に記載の方法。

【請求項3】

該粒子の殻がポリ(メタ)アクリル酸、ポリエチレンオキシド、ポリビニルアルコールまたはメタクリル酸スルホエチルから選択される重合体の少なくとも1種を含んでなる請求項1に記載の方法。

【請求項4】

該ゴム溶液が5~7の間のpH値を有する請求項1に記載の方法。

【請求項5】

該ゴム溶液がアニオン性界面活性剤および一塩基性もしくは二塩基性ホスフェートのア

ルカリ - 金属塩を含んでなる請求項 1 に記載の方法。